



再選めざす 日本共産党 そねはじめレポート

2010年 6月17日発行 第20号

そねはじめ事務所
114-0032
北区中十条2-11-6
Tel: 3907-1135
Fax: 3906-3225

社会保険病院の存続法案が廃案に!

《民主党》菅政権のもとでの予算委を拒否し国会閉幕

民主党政権の混乱の中で、社会保険病院と厚生年金病院存続の受け皿となる「地域医療機能推進機構」法案が、「高い支持率のうちに選挙を・・・」という民主党の党略的な会期延長拒否のため廃案に追いこまれてしまいました。

●「民営化」とのたたかいで公的存続かちとったのに

社会保険病院は、自民・公明政権の下で、所有者の社会保険庁の解体と共に自治体か民間に売却する方針で「整理機構（RFO）」に移管されましたが全国50箇所以上の病院の労組や患者・住民のねばり強い運動におされて、政権交代を機に国が「推進機構」を創り、公的存続させる方針がうち出されました。

北社保病院は86年旧国立病院廃止計画、社会保険病院移転でオープン直前に公明党大臣が凍結、再び民間売却の嵐に耐え抜いての大きな前進でした。

●「病院存続は超党派で協力を」とよびかけ

ところが「推進機構」法案は昨年臨時国会では法案の不備から先送りされ、今国会でも5月31日にようやく衆議院を通過したものの、直後の首相交代劇で空転していたものです。

日本共産党小池あきら議員は賛成質疑を準備し「地域医療まもれの住民の声に応えるため超党派で努力し必ず今国会で成立を」と各党に呼びかけてきました。

●本会議も開かず法案成立を放棄

民主党は「支持率の高いうちに参院選を」との党略を優先させ、菅内閣での予算委員会も拒否、最終本会議も開かず閉会する暴挙に出たのです。

日本共産党は北社保病院存続へさらに全力で取り組む決意です。

**志位和夫委員長と
小池あきらら参議員が
日本共産党の
躍進を訴えます**
◆**応援弁士 池内さおり**
◆**6月19日(土)午後5時**
赤羽駅東口広場
政権交代がほんものの国民のための政治につながるか、元の自民党政治への逆流に終わるのか、審判が下される参議院選挙。公示直前の日本共産党の党首と候補者がそろって区民の皆さんに直接訴えます。ぜひお立ち寄りください。



(参議院前で病院存続へ改めて決意を燃やすそねはじめ前都議。)